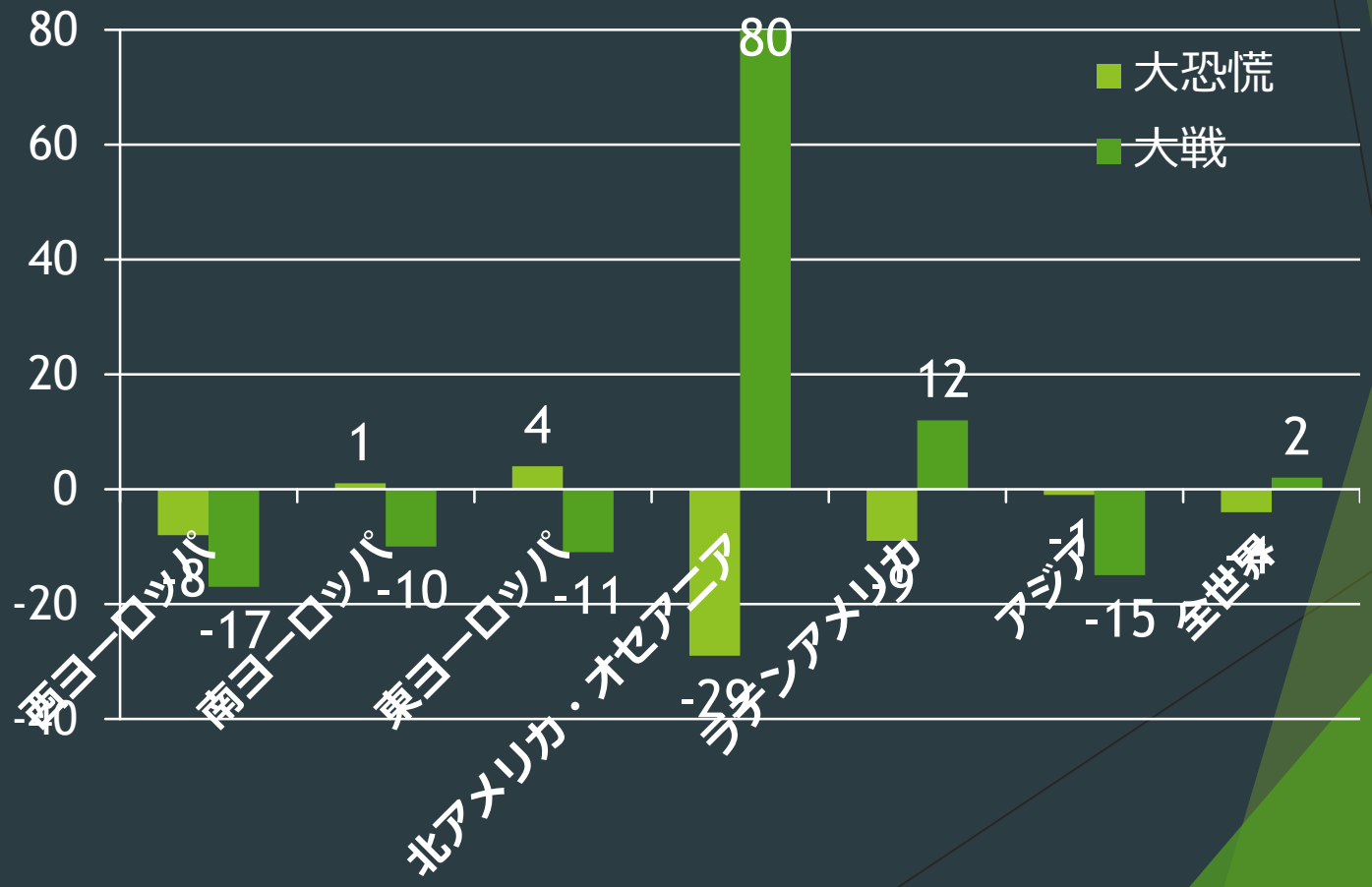
世界をグラフでつかまえる！

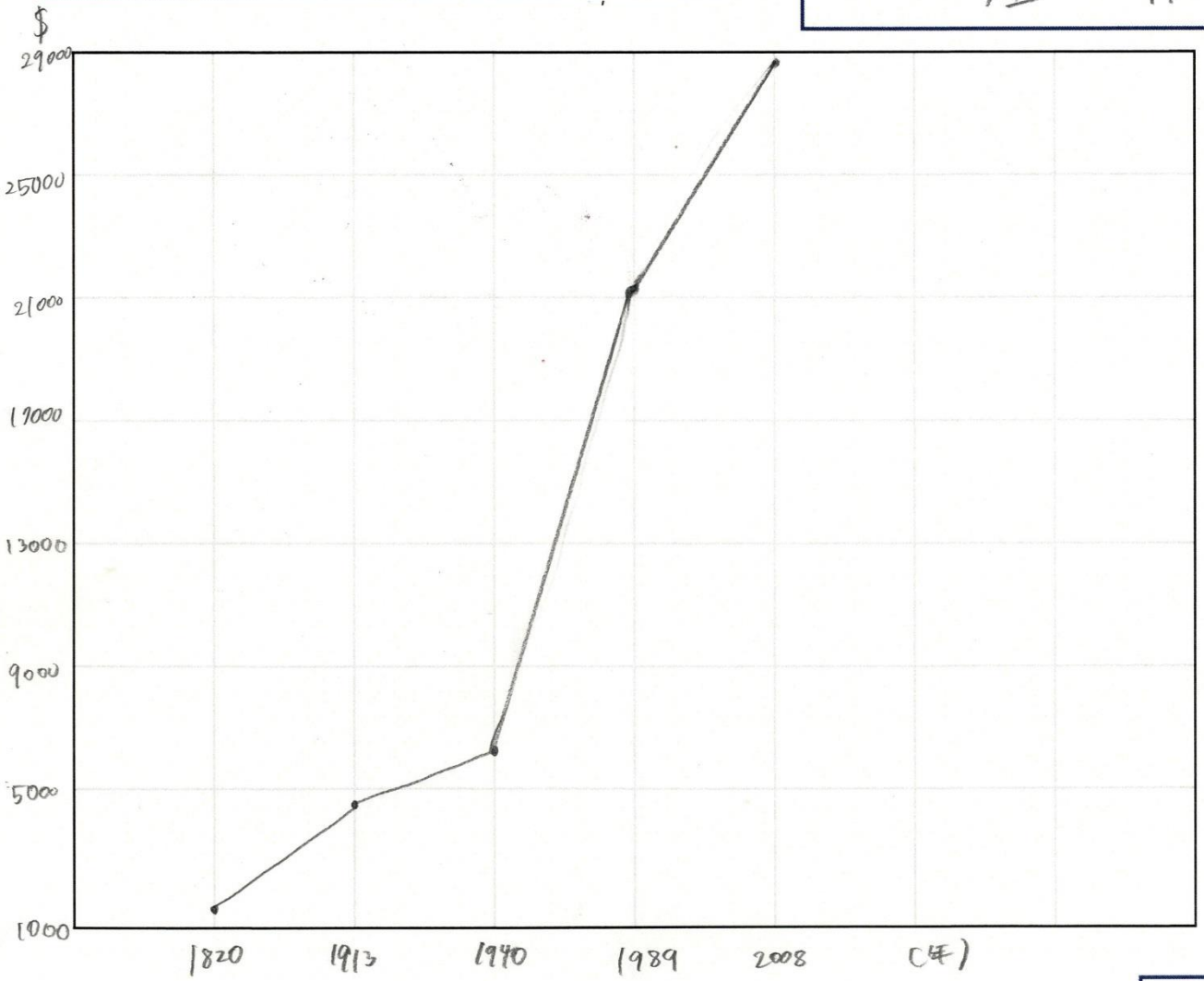
優秀作品　7名　を発表します。



シンプルゆえのインパクト！

This is my GRAPH!

TITLE: 差の拡大

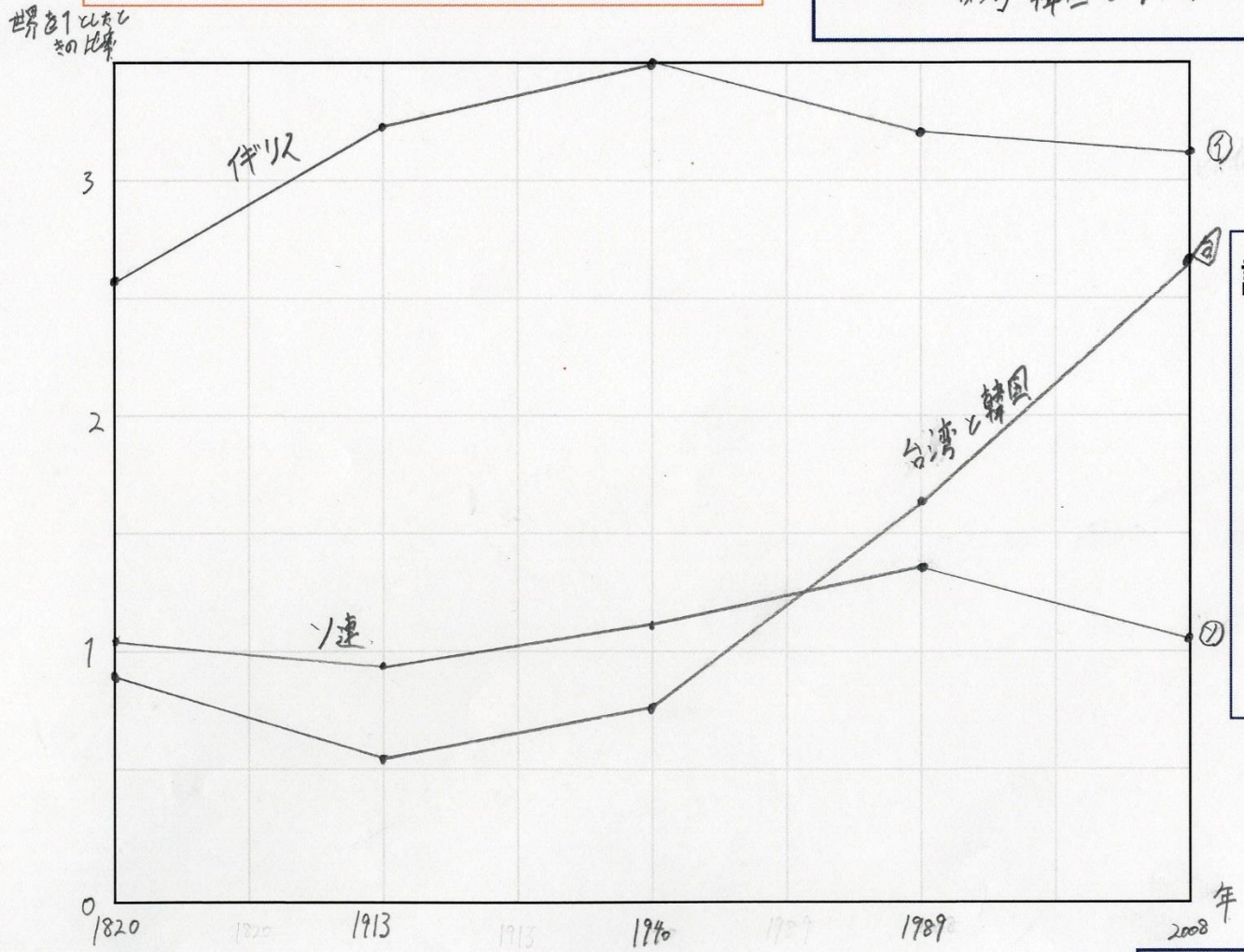


説明しよう！
このグラフは
各年の1位と最下位の
GDPの差

３つにしぼって明快！

This is my GRAPH!

TITLE: 台湾・韓国とイギリスの成長の違い。



説明しよう！
このグラフは
世界を1としたとき、の各国の
年代順のGDP比率
イギリスはそんなに成長していない。
台湾と韓国は成長が目覚ましい。

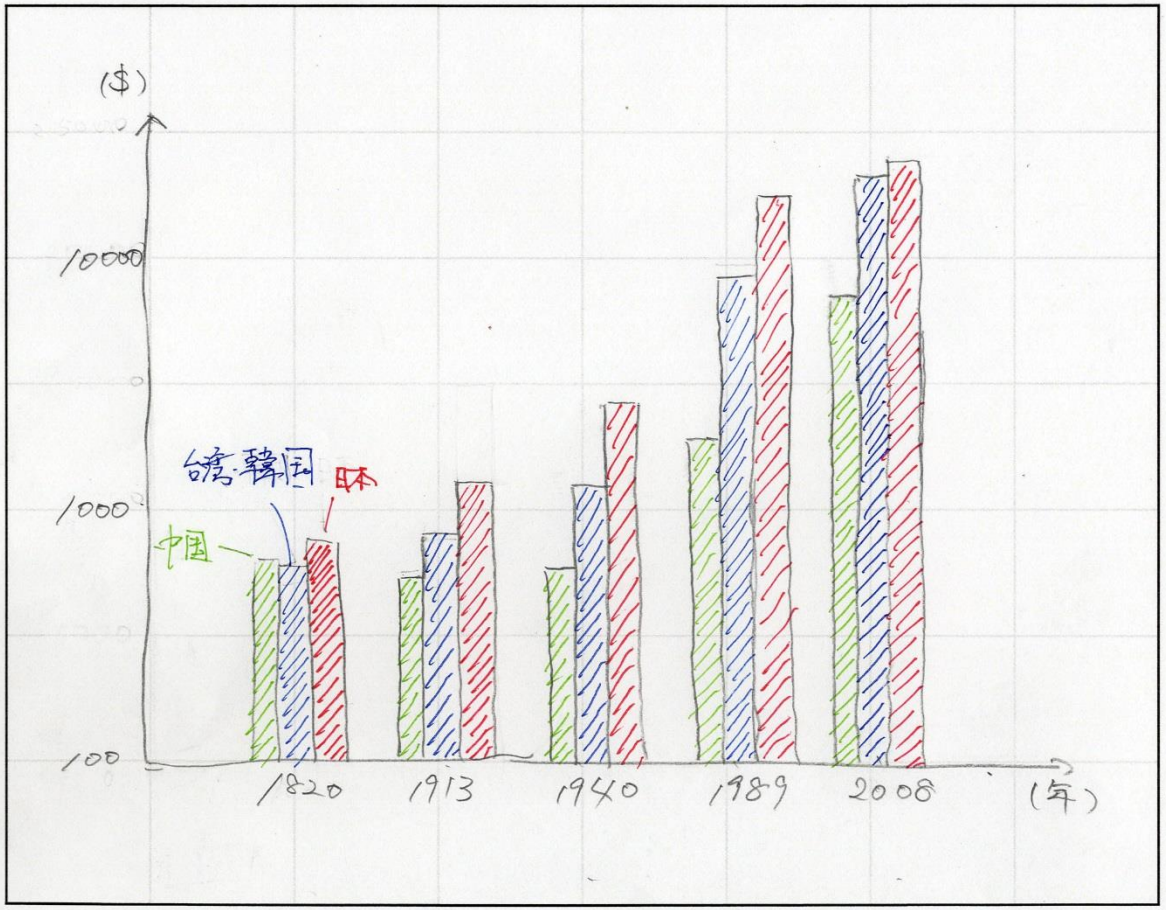
世界の流れにのっただけ。

立場が変わってる。

カラフルな力作です。
さりげなく対数グラフのところもプロ仕様。

This is my GRAPH!

TITLE: 東アジアの1人あたりGDPの推移
(1820年～2008年)

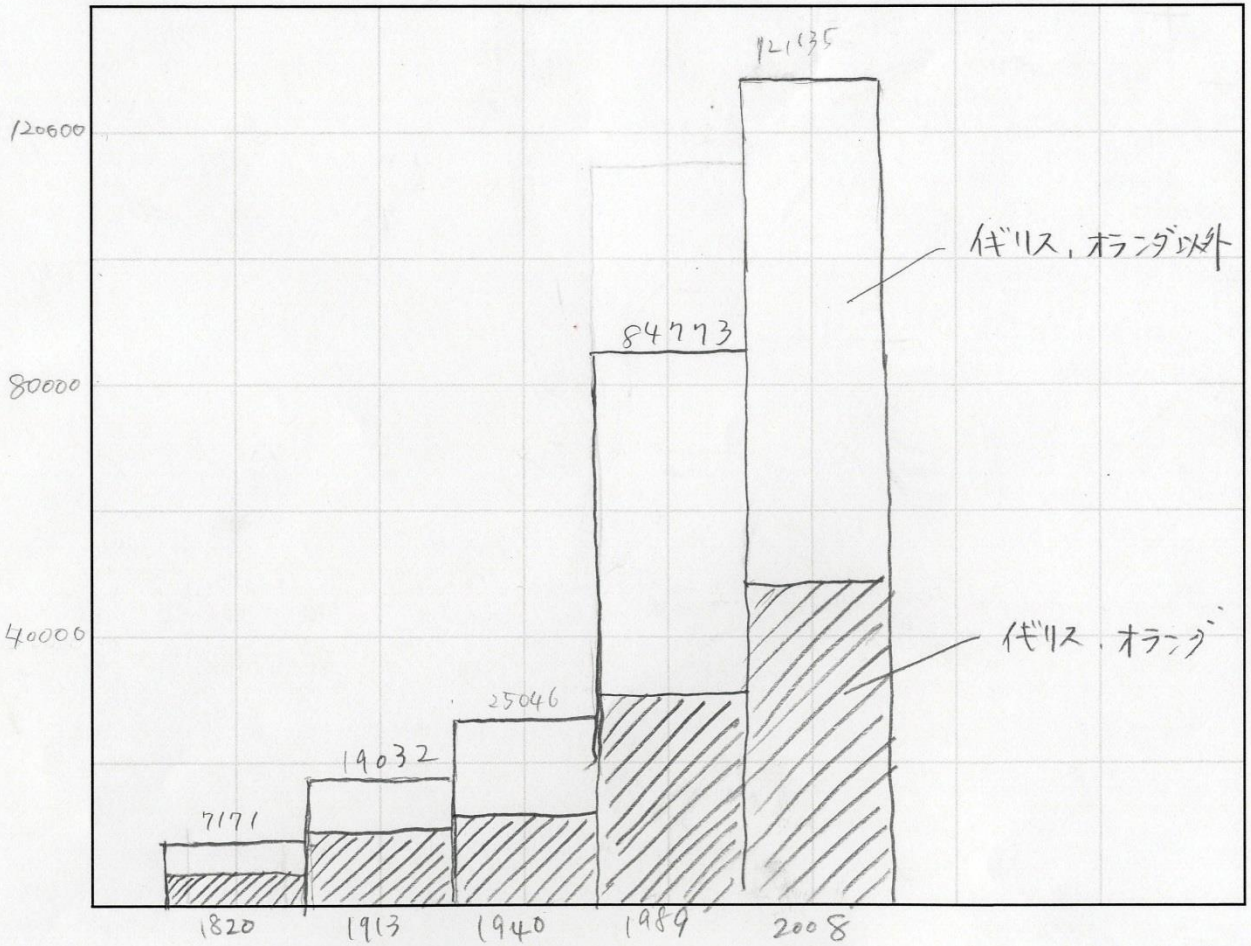


説明しよう！
このグラフは
韓国(と台湾)が1人当たりGDPにおいて中国に比べて速く日本に追いついていくことを表したもの。
(対数グラフ)

さすが空間系。
グラフの見せ方が、ほんとにきれい。

This is my GRAPH!

TITLE: ヨーロッパのGDPの推移と
その中でのイギリス、オランダの割合



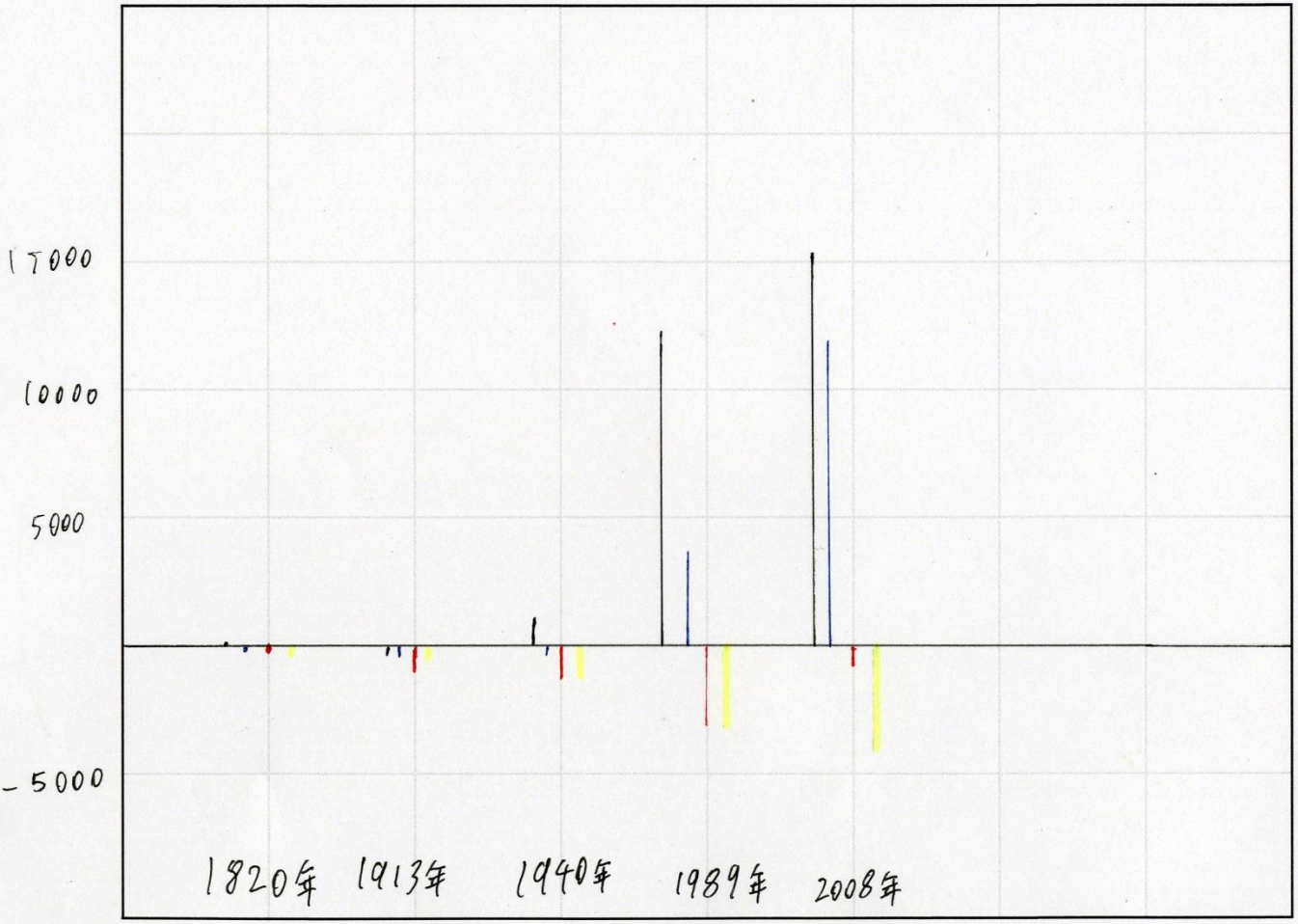
説明しよう！
このグラフは

1820～2008年において
ヨーロッパにおける1人あたり
GDPは大幅に増え続けて
いるが、イギリス、オランダだけ
で見るとそこまで大幅ではない
1820年まではイギリス、オランダが
優勢だったがそれ以降は
急激に他のヨーロッパ諸国が
成長したのか!?

ちょっとインドが見えにくいけど、
マイナス軸を設定して、
格差を表現したのがワザありです。

This is my GRAPH!

TITLE:東アジア主要国の所得の格差？

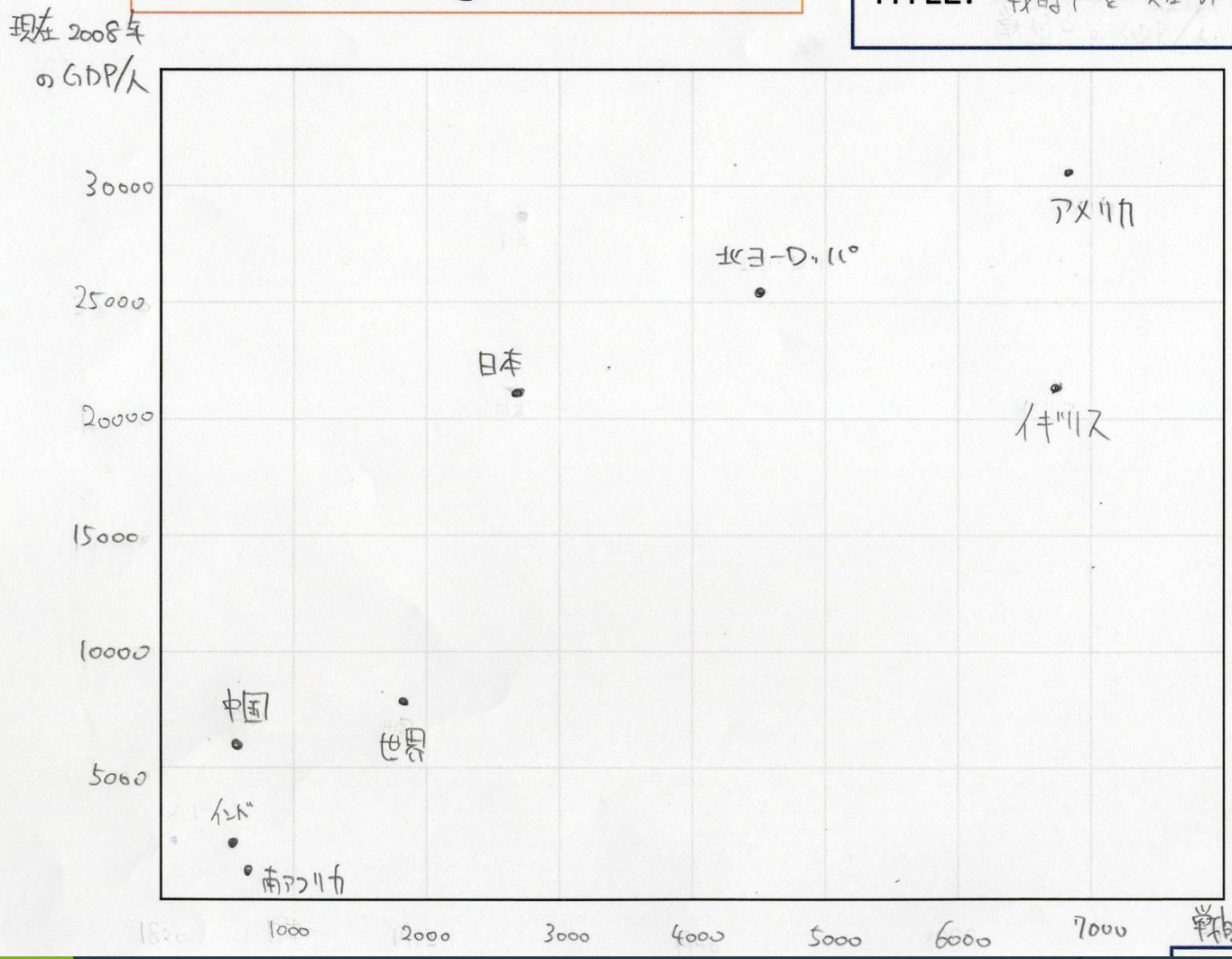


説明しよう！
このグラフは
— … 日本　— …韓国と台湾
— … 中国　— …インド亜大陸
として、世界の1人あたりのGDPとそれぞれの国の国民1人あたりのGDPとの差を表した物である。

散布図を発想したのは、35人中ひとりだけ。
しっかり結論も出ててグッジョブ。

This is my GRAPH!

TITLE: 戦時中と現在のGDP



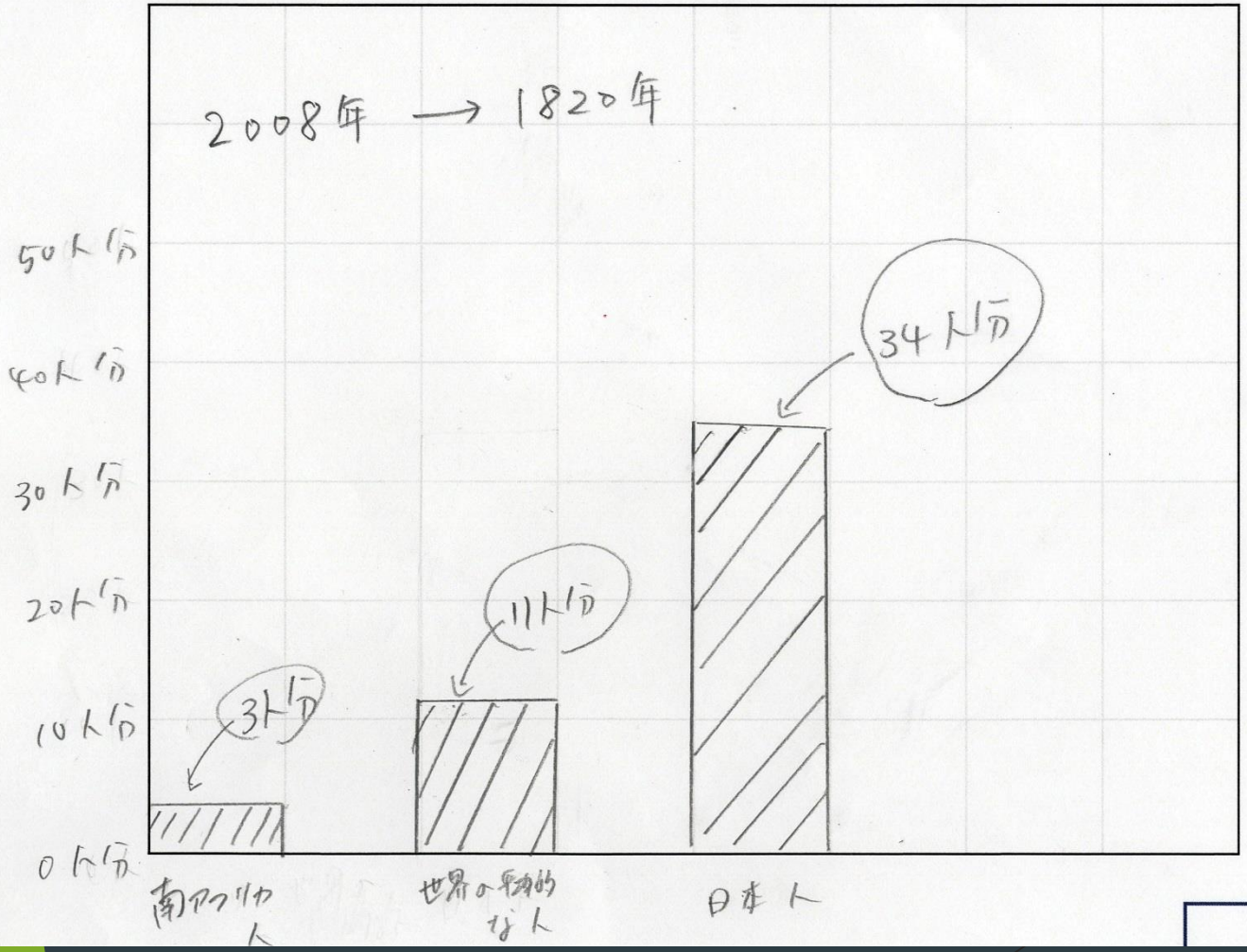
説明しよう！
このグラフは

左上にいけばいくほど
戦時中にくらべ
富かになっている。

☆今週の最優秀賞☆
身体感覚に置き換えた親しみやすさがGOOD！

This is my GRAPH!

TITLE: 労働力の向上



説明しよう！
このグラフは
2008年から1820年にタイムスリップしたらその人は1820年における その国の何人分の労働力になるかを示したグラフ.

初回の小手調べ、　山室的おすすめ　7作品をセレクトしました。
王道の折れ線グラフから敢えて離れたり、
数字にひと手間加えて新知見を引き出したり、
みんなの創意工夫をお楽しみください。

なお、昨年度の全学科目「歴史学」の履修者さんが8名ほど
いらっしゃるようですが、シラバスでご案内の通り、
講義内容が 10/14 回くらい、かぶります。ごめんなさい。
ちょっと今から組み立て直すのはムリなので、受講される場合は
「あ、聞いたことあるぞ」が多いことを御承知ください。
フィードバックの場面等で、
新しい経験をしていただけるよう努力します。